

第四回忠順ありがとう大賞

(平成二十一年度)

入賞作品

- ・応募作品 一二九一首
- ・永井公博先生 撰評

小学生の部

豊田市長賞

堤小二年 深見しょうせい

パパがきめたいつもねる前せいぎとして

ありがとうのはっぴよう会

※正座して毎晩のありがとう発表会。素晴らしいことですね。「ありがとう」の声が家中にひびきます。

豊田市教育委員会賞

堤小六年 渡辺 あや

ありがとう世界のみながいえるよ

う

安心できるみな地球を

※世界中の人たちが皆「ありがとう」と言えるような地球になつてほしいものですね。

会長賞 金賞

堤小一年 なす みなみ

おとうさんふたりでねるとあつたかい

みなこのころもぼかぼかするよ

※お父さんのあつたかいぬくもりは、心もあたたためてくれるものです。

会長賞 銀賞

堤小三年 野村 夏叶

お母さんいつもそうじして大変だからこれからお手伝いするね

※自分から進んでお手伝いしましたよね。

会長賞 銅賞

堤小三年 松井 惇

お父さんいっしょにおふるありがとう

いっぱい話せてうれしい時間

※なごやかなお風呂の様子が目に浮かびます。お父さんの大きな背中を洗ってあげましょう。

中日新聞社賞

駒場小四年 山本 早希

お母さん手伝いしなくて

ごめんなさい

おさらあらいはがんばるからね

父さんのいちばんすきなわらい声

わたしに元気あたえてくれる

堤小一年 さとう はるの

おとうさんまいにちしごとがんば

って

かたもみするよころをこめて

堤小四年 日置 うらら

めざましのアラームよりも

あたたかい

母の声にて起きるしあわせ

堤小六年 正木 泰斗

おばあちゃん

いつもこごとをくれるけど

優秀賞 (六名)

駒場小五年 坂田 彩夏

ぼくのためにいってってくれる

堤小二年 井川 耀介

おにいちゃんいつもなかよし

そばにいて

いっしょにあそびいっしょにわら

う

堤小四年 佐藤 良紀

みまもって歩いてくれる登下校

ながいきしてねおじいちゃん

中学生・一般の部

豊田市長賞

前林中一年

近藤 良起

ありがとういつも笑顔でいれるの

は

いつも笑顔なみんなのおかげ

※家庭も学校もみんな笑顔の人が
いっばいで幸せですね。良起君
も笑顔で元気に活動しようね。

豊田市教育委員会賞

前林中二年 山下 杏海

お母さん仕事も家事も休まない

私もそんな人になりたい

※杏海さんもお手伝いに励んで、
お母さんのような働き者になり
ましようね。

会長賞 金賞

前林中三年 新実 真輝

辛いのに弱音も吐かず仕事に行く

立派な父の強さをぼくに

※辛抱強く働くお父さんの姿をと
らえていますね。お父さんのよ
うに頑張りましょう。

会長賞 銀賞

前林町 甲村サカエ

恙(つつが)なく此の地に嫁(か)

せし五十年

三代連(つら)ね除夜の鐘撞(つ)

く

※三代揃って越年の鐘の撞ける境
遇への感謝が込められています。

会長賞 銅賞

扶桑町 吉田 八重

年明けて今年も息災吾が畑の

野菜は旨し天地の恵み

※作物は天地の恩恵と、人の丹精
の賜物です。特に、吾が家で収穫
したものは味わい深いことでは
よう。

中日新聞社賞

前林中一年 坂井 花帆

わたしはねいろんな人に支えられ

過ごしているよみんな大好き

麻早く道路にたって旗を持ち

みんなを守る地域の方がた

前林中二年 尾島 沙耶

ありがとう毎日思うこの言葉

はずかしくって言わないけどね

前林中三年 林 智美

ひえる朝みんなのごはんありがと

う

母のあかぎれ目にして思う

いつの日か七十五過ぎて健康で

地域の皆と防犯活動

駒新町 安野 律子

夕刊を楽しみ待つ

梨畑(なしばた)に

ど

ありがとうって言いたいんだよ

配達さんのバイク音聞こゆ

第四回「忠順ありがとう大賞」に

総数千二百九十一首の応募を頂き

ありがとうございました。今年も

心豊かなありがとうの気持ちが入

められた様々な短歌に出会うこと

が出来ました。応募して頂いた短

歌を読みながら「ありがとう」の題

材の広さを感じております

事務局での第一次審査を経て永

井公博先生による最終審査により

以上の二十四名の方が入選され、

また講評を添えていただきました。

応募して下さった大勢の方々、授

業、行事等で大変お忙しい中、協力

して頂いた小、中学校の先生方に

感謝致します。

事務局 川村

前林中二年 岩見 裕貴

* * * *